事業番号

2023 - 文科 - 22 - 0462 - 02

令和5年度セグメントシート

(国立科学博物館)

セグメント名	収集保管事業			担当部局庁	文化庁	作成責任者		
事業開始年度	平成13年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	企画調整課	企画調整課長 寺本恒昌		
会計区分	一般会計							
セグメント単位の考え方	財務諸表のとおり							
根拠法令 (具体的な条項も記載)	独立行政法人通則法第46条			関係する計画、通知等	第3期 教育振興基本計画(平成30年6月15日閣議決定) 第6期 科学技術・イノベーション基本計画(令和3年3月26日閣議決定) 第1期 文化芸術推進基本計画(平成30年3月6日閣議決定)			
				主要経費	科学技術振興費			
事業の目的 (5行程度以内)	博物館を設置して、自然史に関する科学その他の自然科学及びその応用に関する調査及び研究並びにこれらに関する資料の収集、保管(育成を含む。)及び公衆への供覧等を行うことにより、自然科学及び社会教育の振興を図ることを目的とする。							
現状・課題 (5行程度以内)	国立科学博物館では、自然科学と人文科学を融合させて新たな研究の可能性を探るとともに、国立科学博物館が持つ自然史及び科学技術史分野に関する専門性の高い研究人材や今まで培った専門人材養成のノウハウ、アジア最大級の標本・資料コレクションを有するという「強み」を生かした事業を展開する。それを実現するためには、増大する標本・資料の管理・活用に対するコレクションのマネジメント体制の充実、及び狭隘化が進む収蔵スペースの確保等が課題として挙げられる。また、地球環境の変化に対し、人々が自然及び科学に関する知識と科学的な考え方・態度で適切に判断し行動できる総合的な能力である科学リテラシーの涵養が不可欠となっている。							
事業概要 (5行程度以内)	科学系博物館のナショナルセンターとして、自然史及び科学技術史の研究に資する標本・資料の調査、収集を体系的に進め、これらの標本・資料を適切な環境のもとで保管し、将来へ継承する。							
事業概要URL	https://www.mext.go.jp/a_menu/hyouka/1399877.htm							
予算額・執行額 (単位:百万円)	經常収益	予算額	当初予算: 運営費交付金(A)	182	213	197	162	-
			補正予算: 運営費交付金(B)				-	-
							-	
							-	
							-	
		執行額	運営費交付金(C)	357	239	246		
			補助金等(D)	25	23	53		
			その他(E)	88	82	130		
			計(F) =(C)+(D)+(E)	470	344	429		
			運営費交付金収益の割合 =(C)/(F)	76.0%	69.5%	57.3%		
			運営費交付金収益化基準	業務達成基準	業務達成基準	業務達成基準		
經常費用	予算額(G)	281	272	280				
	執行額(H)	469	344	429				
	執行率(I) =(G)/(H)	167%	126%	153%				
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)			
	(項)	独立行政法人国立科学博物館運営費交付金に必要経費			-			
	(目)	独立行政法人国立科学博物館運営費交付金						
		その他						
		計(A)	162	-				

活動内容① (アクティビティ)	ナショナルコレクションの構築・全国的な標本・資料情報の収集と活用促進									
↓										
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
	5年間で新たに40万点の登録標本資料数の増加	登録標本資料増加数	活動実績	点	68,439	91,787	56,983	-	-	
			当初見込み	点	76,385	80,000	80,000	80,000	80,000	
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	独立行政法人国立科学博物館が達成すべき業務運営に関する目標(中期目標)を定め、独立行政法人通則法に基づき主務大臣が業務実績評価を行っている。ナショナルコレクションの構築及び全国的な標本・資料情報の収集と活用促進についてもこの目標に定めており、年度終了時、中期目標期間終了時に評価されるものであることから、毎年度、一定以上の評価を受けることは短期的に正しい成果が得られていると判断できると考えられるため。								
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 7年度		
	独立行政法人通則法に基づく主務大臣による業務実績の評価について、ナショナルコレクションの構築・継承及び活用に係る項目で標準評価以上の評価を受ける。	文部科学大臣決定に基づく評価基準(大項目におけるB評価以上の割合) 中間目標の期間(令和3年度～令和7年度)	成果実績	%	100	100	-	-		
			目標値	%	100	100	100	100		
達成度			%	100	100	-	-			
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	独立行政法人国立科学博物館の令和4年度における業務の実績に関する評価(文部科学大臣)									
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	中期目標・中期計画において定めた計画に沿った事業が行われたかについて、中期目標期間実績評価における評価実績をもとに判断する。								
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 7年度		
	独立行政法人通則法に基づく主務大臣による第5期中期目標期間実績評価のうち、ナショナルコレクションの構築・継承及び活用に係る項目で、標準評価以上の評価を受ける。	文部科学大臣決定に基づく評価基準(大項目におけるB評価以上の割合) 中間目標の期間(令和3年度～令和7年度)	成果実績	%	-	-	-	-		
			目標値	%	-	-	-	100		
達成度			%	-	-	-	-			
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	独立行政法人国立科学博物館の第5期中期目標期間における業務の実績に関する評価(文部科学大臣)									
アウトカム設定について の説明	アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由									
	アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由									

アクティビティから長期アウトカムについて6つ以上記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載								チェック	
独法所管部局による点検・改善									
点検結果	<p>目標年度における効果測定に関する評価(令和8年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アクティビティ①の活動実績は令和4年度は当初見込を下回った。これは、統合データベースの更新時期だったため登録作業に影響があったことや、標本の収集や受入れ後の登録作業に係る労力や対応の難しさの違いが関係しているが、令和4年度においても受入れ標本数は十分であったため、今後も収集した標本資料の登録を進め、着実に登録標本資料数の増加に取り組む。 ・契約に際しては、やむを得ないものを除き、一般競争により契約者を決定しており、支出先の選定の妥当性や競争性を確保するとともにコストの削減に努めている。 								
改善の 方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・アクティビティ①については、今後も収集した標本資料の登録を進め、着実に登録標本資料数の増加に取り組む。 ・真にやむを得ないものを除き、一般競争入札等による競争性の確保を促進するとともに、契約に当たっては、競争参加条件等や仕様書の見直し、適切な公告期間の確保等により競争性、公平性、透明性を引き続き確保する。 								
備考									
-									

文化庁
2,546百万円
(交付金)

事業概要
自然史及び科学技術史の中核的研究機関として、また我が国の主導的な博物館として調査・研究、標本・資料の収集・保管・活用、展示・学習支援活動を通じ、人々が、地球規模課題を含む地球や生命、科学技術に対する認識を深め、地球と人類の望ましい関係について考察することにも貢献する。

↓ [交付]
(A) (独)国立科学博物館
3,528百万円
(総事業費)

※国費投入額と総事業費との差額は、自己収入等である。

↓ 【一般競争入札
(最低価格)等】

(C) 収集保管事業
民間企業等
(63社)
365百万円

※経常費用の執行額には損益計算上の費用が入っているため、(C)の金額とは一致しない

事業概要
科学系博物館のナショナルセンターとして、自然史及び科学技術史の研究に資する標本資料の調査、収集を体系的に進め、これらの標本資料を適切な環境のもとで保管し、将来へ継承する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)

費目・使途 （「資金の流れ」において ブロックごとに最大の金額 が支出されている者につ いて記載する。費目と 使途の双方で実情が分 かるように記載）	A. 独立行政法人国立科学博物館			B.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	業務経費	委託費、水道光熱費、保守整備費、消耗品費、賃借料等	2,345			
	人件費	給与、賞与等	1,167			
	資産購入	器具及び備品、等	16			
	計		3,528	計		
	C. 株式会社JECC			D.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	委託費	統合データベース情報システム更新(初期費用)	37.9			
	計		37.9	計		

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	独立行政法人国立科学博物館	4010505001182	国立科学博物館における調査、収集、展示、学習支援活動	3,528	運営費交付金交付	-	-	

C

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社JECC	2010001033475	統合データベース情報システム更新	37.9	一般競争契約(最低価格)	1	98.6%	-
2	株式会社JECC	2010001033475	標本・資料統合データベースシステム更新一式	5.9	一般競争契約(最低価格)	1	99.7%	-
3	三井住友ファイナンス&リース株式会社	5010401072079	サイエンスミュージアムネットワークシステム更新一式	15.4	一般競争契約(最低価格)	1	98.5%	-
4	東新株式会社	2010601022844	Thermo Fisher Scientific社製DNAシーケンサ保守業務一式	3.4	一般競争契約(最低価格)	1	100%	-
5	東新株式会社	2010601022844	その他修繕、消耗品等 計81件	4.8	随意契約(少額)	-	-	-
6	アイテックサイエンス株式会社	9050001017781	低温・超低温DNA試料保管システム一式	3.1	一般競争契約(最低価格)	1	100%	-
7	アイテックサイエンス株式会社	9050001017781	コケ類コレクションデータベース作成費	0.6	随意契約(少額)	-	-	-
8	アイテックサイエンス株式会社	9050001017781	その他修繕、消耗品等 計27件	2	随意契約(少額)	-	-	-
9	一誠商事株式会社	1050001017178	資料保管倉庫の賃貸借	4.2	随意契約(その他)	-	100%	-
10	株式会社和科盛商会	3010001105926	イルミナ社製DNAシーケンサ保守業務一式	1.2	一般競争契約(最低価格)	1	94.9%	-
11	株式会社和科盛商会	3010001105926	その他修繕、消耗品等 計24件	1.9	随意契約(少額)	-	-	-
12	株式会社セイコー社	9012401007977	技術の系統化調査報告制作一式	1.2	一般競争契約(最低価格)	5	100%	-
13	中央宣伝企画株式会社	6010001004828	第10回HITNETミニ企画展 製作・設営費	0.9	随意契約(少額)	-	-	-
14	中央宣伝企画株式会社	6010001004828	第9回HITNETミニ企画展 撤去・発送費	0.1	随意契約(少額)	-	-	-
15	株式会社薬研社	8040001007537	試薬 Ligation Sequencing kit	0.2	随意契約(少額)	-	-	-
16	株式会社薬研社	8040001007537	その他消耗品等 計40件	0.8	随意契約(少額)	-	-	-
17	株式会社総合マーケティング・ビューロー	2010401016088	令和4年度産業技術史資料の保存状況調査一式	0.8	随意契約(少額)	-	-	-